

## 鍋田丑之助の碑

鍋田丑之助（なべた うしのすけ）は六ツ美村大字中嶋字本町（現、岡崎市中島町字本町）の鍋田平兵衛の長男として1829（文政12）年正月朔日（元日）に生まれた。幼名を周太郎といい、後に丑之助と改めた。家號を鍵屋と言ひ、米穀綿商に身を起こし、老後、家業を廃し、自ら公共の事業に奔走し、殖産を説き貯蓄を奨励した。1898（明治31）年4月8日に病死した。其の壽像（じゅぞう：生前に作っておく）碑は浄光寺境内にある。（現在は、鍋田家の所有地にある）六ツ美村誌より引用。

### ・鍋田丑之助の碑（表面）

#### 壽像之碑

神道管長正四位子爵 稲葉邦政 題額

鍋田翁壽像碑 池田友八郎書

權少教正衍思翁鍋田氏中興之祖也翁齡將古稀其義子欲賀以壽碑來請父餘於翁爲竹馬友誼不得辭及按翁通稱丑之助小字周太郎衍思其字考平兵衛妣筒井氏以文政十二年正月朔生於碧海中島甫四歲亡恃八歲就龍泉寺普翁上人學書法不成學數理亦不成上人諄々誡諭怙亦嚴責不假然常率群兒嬉戲是事二人屢有不可雕之歎十三退從商賈數年頗緒餘財嘉永二年讓宗家於弟忠兵衛別興一家號鍵屋販米穀綿絮及肥料等天資固以警敏潛心家業孜孜匪懈且富暗記常以心算計一毫不差臨機能斷家名大振萬延元年領主小笠原家調達尋爲用達允姓氏後爲重原調達於是築廬屋購田園富累巨萬於戲有學數理不成而如此者明治六年額田縣令地券取調係九年命改租取調係又爲學校係十六年文部省賞其勤勞以玉篇一部硯函一枚明年愛知縣亦賞幼學綱要一部十九年神道管長命教導職後累遷中講義廿七年自大講義進現職於戲有學書法不成而如此者上人嘗曰弟子數百卜其前途未曾謬獨矣之周太然彼他日心興其家者矣果如其言翁性好施曩寄資村校新築官及賞銀盃一個其他社寺投資者前後迨四十餘所人感其篤志娶牧氏萬延元年十一月朔歿生三男二女皆夭長女嫁淺井峯丸後娶石川氏明治七年養尾崎善兵衛二男恒雄配二女爲嗣孫現有八人今茲翁年六十九如鸞鑠壯強者能罵詈人亦能容人言此學此文其容否銘曰

聞翁之先 出自源宗 天眷爾祖 德潤翁躬

有壽有福 子孫如蠡 流風脈脈 千秋無窮

明治三十年九月 浄土宗総本山管長大教正 太田郭空 撰文



鍋田丑之助の碑 160724



(注) 国会図書館デジタルコレクションの書名「奎堂松本先生ニ就テ」、著者「津田信吉」、出版者「宇都宮万五治」、出版年「昭和15年」の中に「碧海郡西中村 観水 池田友八郎」の記述がある。碧海郡西中村は現在の知立市である。

本項は以下の資料から引用した。

**[六ツ美村誌]**

- 編者： 六ツ美村是調査会
- 発行： 六ツ美村是調査会
- 発行日：1926（大正15）年12月1日
- 発行所：日新堂書店
- 印刷所：活版印刷所